

ひのし 青少年委員だより

編集：日野市青少年委員の会 発行：日野市子ども部子育て課 TEL042(585)1111 内線2519

ゆう ゆう 第 31 回 みんなの遊・友ランド



たくさんの笑顔あふれる時間と
みんなが楽しく遊べるイベント



6月11日(日) 日野市市民の森ふれあいホールで「みんなの遊・友ランド」を開催いたしました。このイベントは障がいの有無にかかわらず、みんなが楽しく遊べるイベントです。

31回目となる今年は、みんなと一緒に同じ遊びができるように前半・後半の2部制で行いました。子どもたち、ボランティアの方々、保護者、スタッフ総勢240人近くの方が集まりました。

昨年人気だったボッチャは今年も3面で公式コート、簡易コートの2種類を用意。それぞれの遊び方を楽しみました。そしてコロナ禍でできなかった風船プールを今回小さなプールとして復活。またがる風船と2種類で皆さんの笑顔を見ることができました。コロナ禍で実施して人気となった工作コーナー。今年のテーマは『虹と海』。みんなで夢中になって作っていました。

遊びにきてくれた皆様、イベントを盛り上げ、支えてくださった協力団体の皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。来年もたくさん子どもたちが、たくさんの笑顔あふれる時間となりますよう、工夫しながら「みんなの遊・友ランド」を開催していきたいと思います。

ボッチャ



小さなプール



またがる風船



協力団体の皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

ジュニアリーダー講習会 夏キャンプ 2023

～夏キャンプ IN 山梨県北杜市のハケ岳～

2023年度ジュニアリーダー講習会の第4回プログラムとして1泊2日のキャンプに同行しました。行先は、山梨県北杜市のハケ岳。初日は現地に到着してすぐに行われるハイキングでスタート。班のみんなで協力し、互いに励まし合いながら地図を片手に宿泊先であるハケ岳少年自然の家を目指します。

途中、山あり谷あり別れ道ありと、いくつかの難所を乗り越えながらゴールしたみんなの顔は達成感に満ちあふれ、とてもイキイキと輝いていました。入所式を終え、休む間もなく夕食の準備にとりかかります。小学生が中心となってキャンプでは定番のカレー作り。定番と言ってもあなどるなかれ、班の数だけ絶品カレーが出来上がるのです。どの班のカレーも個性が出ていてとてもおいしかったです。中には全部の班のカレーを食べて回る猛者がいたほど。

夜はお待ちかねのキャンプファイヤーです。中学生が一生懸命練習を重ね、用意していた寸劇を交えた様々なゲームは大盛りあがり、火を囲んで興奮していたのもあってか、いたるところで歓喜の声があがっていました。

2日目の朝はヒノソングをみんなで踊るところからスタート。この日もプログラムが盛りだくさん！革のキーホルダーで思い出づくり。広い原っぱを存分に利用しての班対抗リレーなど。帰りのバスではみんな疲れてぐっすりでした。1泊2日のキャンプではありましたが、親元を離れ、自分の力で色々なことにチャレンジし、様々な世代の人と交流することで、一段と成長を遂げた子どもたちの姿がそこにはありました。

みんなで自然散策



みんなでカレー作り



みんなで
キャンプファイヤー



子どもにアドバイス



～東京都青少年委員連合会多摩第一ブロック研修会～

10月28日(土)、多摩地区のブロック研修会が、東村山市で行われました。

今回は、東村山市青少年委員事業である「輝け！東村山っ子育て塾」の実施内容の中から、「私の大切なものを紹介してください」と「各市の紹介をしてください」をテーマに、各グループで話し合いました。活動結果を発表し、それぞれの市の特徴を知ることができました。

日野市の良いところ、皆さんにたくさん紹介してきました。

みんなで製作



日野市の良いところ発表



みんなでパチリ



※多摩第一ブロックとは、東村山市・三鷹市・稲城市・町田市・府中市・狛江市・日野市 です。

～手をつなごう・こどもまつり～

みんなで製作した大きな風船

11月5日(日)日野市市民の森ふれあいホール&仲田の森蚕糸公園で「手をつなごう・こどもまつり」が開催され参加しました。

お天気にも恵まれて多くの子どもたちが遊びにきてくれました。

大きな風船のフワフワなベットの寝っ転がる子や座ってジャンプをする子、小さな子は大人と手をつないでピョンピョンしたりと楽しんでいました。何度も並んでくれた子どもたちもいて大盛況でした。



～自然体験企画「火おこし&焼き板づくり」～

5月28日(日)仲田の森蚕糸公園で自然体験企画「火おこし&焼き板づくり」を開催いたしました。

自然体験企画の参加者は、16名(4名×4班)、青少年委員合わせて総勢約30名となり、とても賑やかな1日でした。午前9時半に体験企画スタート。

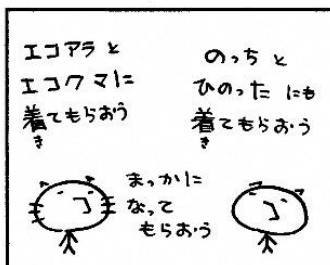
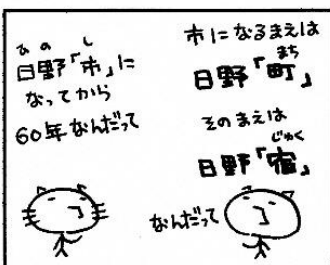
薪割り、火おこし、焼き板のレクチャーにはじまり、かまど、火おこし器、火おこしセット(火きり杵、火きり臼、もぐさ&麻)等普段見たこともない道具を見て『わくわく・ドキドキ』子どもたちは、それぞれの役割を協力し合って楽しく一生懸命やっていました。火おこし器を使った火おこしの難しさ、焼き板の焼き加減の難しさを実感しました。便利になった生活からは想像もつかない体験ができて良かったと思います。

火おこしレクチャー



右側の写真中央に写っているのが、体験した『火おこし器』です。

市制60周年!!



青少年委員担当地区みどころ紹介 ～日野第一中地区～

～農家風の木造駅舎 JR中央線「日野駅」駅舎～

立川駅と豊田駅を結ぶ「日野駅」の駅舎をご紹介します。現在あるJR中央線「日野駅」駅舎は昭和12（1937）年6月1日に複線化にともない、現在の場所に移転してきました。それまでは、今の位置よりも豊田方面のJR東日本日野変電所がある場所に日野駅（日野停車場）がありました。つまり今の駅舎は2代目になります。

2代目の新駅舎は昭和初期の農村風景を意識して建てられたといえます。日野は戦国末期より水路が発達し、「江戸の米蔵」と呼ばれるほど稲作が盛んでした。昭和30年頃までは、日野駅周辺一帯が水田地帯だったそうです。木造の農家風の駅舎は、時代による改築はあるものの、80年以上経った現在も使用されています。都内にある木造駅舎は時代とともに少なくなってきました。大正13（1924）年に建てられた木造のJR山手線「原宿駅」の駅舎は令和2（2020）年、新駅舎の使用開始にともない、その役目を終え、解体されました。赤い三角屋根が特徴だったJR中央線「国立駅」の駅舎も平成18（2006）年、中央線の高架化にともない、その役割を終えました。現在は国立駅北口に復元され、「まちの魅力発信拠点」として再出発しています。同じくJR中央線「高尾駅」北口の駅舎は、多摩御陵参拝のために昭和2（1927）年に整備された皇室ゆかりの木造建築です。再開発により移転が計画されています。

木造の日野駅の駅舎は、人によっては時代に取り残されたただの古い駅舎にしか見えないかもしれません。しかし、今となつては、かえってそれがまちの大きな魅力のひとつになっているように感じます。「景観」に配慮したという点でも、設計者の先見性と、これからのまちづくりのやり方について考えさせられます。

木造の日野駅の駅舎は、今日も「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」と、たくさんの人を静かに見守っています。

昭和12（1937）年 日野駅新駅舎と駅員



「馬場収氏所蔵」 「日野宿発見隊」

【記・写真提供：日野宿発見隊 入野祐子氏】

【日野宿発見隊 QR コード】 →

<https://www.hinoshuku.com/>



各地区の青少年委員です。よろしくお願いいたします。

① 一中地区



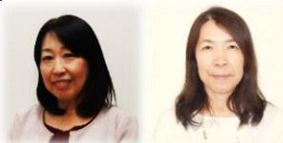
宮本 俊子 池田 恵美子

④ 三中地区



須崎 奈緒美 沖田 利紗

⑥ 三沢中地区



出浦 郁江 山田 清子

② 二中地区



木戸場 美和 峰尾 浩文



⑦ 大坂上中地区



太田 日香里 尾原 利美

③ 七生中地区



和田 貴善 永井 佳代子

⑤ 四中地区



高橋 則之 大澤 千春

⑧ 平山中地区



伊藤 幸枝 田邊 信一

青少年委員とは？

日野市青少年委員の設置に関する条例に基づき、市長より委嘱されている委員です。各中学校地区に2名ずつ委嘱され、それぞれの地域で青少年の健全育成に関わる活動を幅広く行っています。年代や職場など、子どもたちと関わるバックグラウンドは様々ですが、地域学校や行政とのパイプ役として子どもたちのふれあいや遊びのきっかけづくりを心がけて活動しています。

